



平成30年2月2日

第24回釧路開発建設部総合評価審査委員会の審議概要について

平成29年12月20日（水）に開催された、第24回釧路開発建設部総合評価審査委員会の審議概要を別紙のとおりお知らせします。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部

技術管理課 課長 榊原 仁志 電話：0154-24-7147（内線3391）

技術管理課 課長補佐 芳賀 聡 電話：0154-24-7174（内線3465）

釧路開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/ks/>



第 2 4 回 釧路開発建設部総合評価審査委員会 審議概要

開催日・場所	平成 2 9 年 1 2 月 2 0 日 (水) 釧路地方合同庁舎 5 階 共用会議室
委 員	岸 徳光 (釧路工業高等専門学校 学校長) 草苺 敏夫 (釧路工業高等専門学校 副学校長) 白石 悟 (北海道科学大学 工学部都市環境学科 教授) 【委員長】 三上 修一 (北見工業大学 社会環境工学科 教授) 宗岡 寿美 (帯広畜産大学 農業環境工学分野 准教授) (五十音順)
議 事	<p>1 報 告</p> <p>(1) 平成 2 9 年度総合評価落札方式の実施状況 (H29. 5. 1～H29. 9. 30) について</p> <p>2 審 議</p> <p>(1) 平成 2 9 年度総合評価落札方式の実施結果について</p> <p>①釧路港西港区ー 1 4 m岸壁 A部その他本体工事 (技術提案評価型 S型)</p> <p>②別海北部地区 別配 1 3ー 1 号用水路末端施設南 1 2号工区外一連工事 他 2 件 ※ 3 件の一括審査方式 (施工能力評価型 (I 型) 「施工計画重視型」)</p> <p>(2) 建設コンサルタント業務におけるプロポーザル方式及び総合評価落札方式の実施結果について</p> <p>①釧路川減災対策検討業務 (簡易公募型プロポーザル)</p> <p>②北海道横断自動車道阿寒釧路間市道鶴野広里線跨道橋詳細設計業務 (簡易公募型競争入札・総合評価落札方式 (標準型))</p>
委員からの意見・質問、それに対する回答等	
意 見・質 問	回 答
<p>【 1 報 告】</p> <p>(1) 平成 2 9 年度総合評価落札方式の実施状況 (H29. 5. 1～H29. 9. 30) について</p> <p>【 2 審 議】</p> <p>(1) 平成 2 9 年度総合評価落札方式の実施結果について 〔抽出された 3 件の一括審査方式を含む工事 4 件について概要説明及び審議を行った。 (以下、応札者の提案又はその評価に係わる内容は技術提案に関する機密保持の観点から記載しておりません。)]</p> <p>①釧路港西港区ー 1 4 m岸壁 A部その他本体工事 (技術提案評価型 S型)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札を辞退した者で、競争参加資格確認通知書では、技術提案に基づく入札の可否は可となっているが、技術提案の採否の詳細については、技術提案 4 項目の内、2 項目で○評価 (加点あり)、2 項目でー評価 (加点なし) であったと通知されている。それが入札を辞退した要因なのか。 ・ 技術提案書に記載されている施工方法は、実際にも実施しているか。また、施工上の管理基準は設定しているか。 	<p>※報告に対し、了解された。</p> <p>・ 事務局としても、委員の意見と同様に考えております。</p> <p>・ 履行義務を負うので、技術提案書に記載された施工方法や管理基準で実施しております。</p>

委員からの意見・質問、それに対する回答等

意見・質問	回答
<p>②別海北部地区 別配13-1号用水路末端施設南12号工区外一連工事 他2件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別海北部地区 別配13-1号用水路末端施設南12号工区外一連工事 ・別海北部地区 別配7-4号用水路末端施設外一連工事 ・別海西部地区 泉川5-1号配水管末端施設拓進工区工事 <p>※一括審査方式 (一般競争入札・施工能力評価型(I型) 「施工計画重視型」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一括審査方式を実施するにあたっての適用条件及び入札方法を確認したい。 ・工事内容等の同一性を考慮し、発注者及び入札参加者の相互の負担を軽減させることを意図として実施していることを理解した。 ・この工事においては、評価した項目及び評価しなかった項目について提案者へのフィードバックは行われないのか。 ・同様の施設がこの地域では多く建設されてきているが、数多くの工事を発注する中で、発注者側では、趣旨、方向性を変えて、評価点に差が出るような出題を模索している状況はあるか。 <p>(2) 建設コンサルタント業務におけるプロポーザル方式及び総合評価落札方式の実施結果について 〔抽出された2件の業務について概要説明及び審議を行った。(以下、応札者の提案又はその評価に係わる内容は技術提案に関する機密保持の観点から記載しておりません。)]</p> <p>①釧路川減災対策検討業務(簡易公募型プロポーザル)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術提案書の評価はどのような体制で行われているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の目的、内容、工事区分が同種の工事、施工区域が近接しているなどの条件を考慮して、適用しています。 本工事にあつては3件の一括審査方式とし、3件の工事に係る企業評価、技術者評価、当該工事での留意事項については、1回、1件の入札参加資格審査申請書類の扱いで審査を行います。 1工事ごとの入札ですが、配置予定技術者は1名のみ申請としていますので、先に落札した社は次の入札を辞退することとなっています。 ・施工能力評価型I型では、施工監理能力の書面の項目毎評価点の加減評価結果について提案者へのフィードバックは行われません。 ・施工計画重視型を昨年度から試行しています。概ね提案項目は決まっていますが、現地条件を考慮し、いろいろとテーマを組み合わせる工夫している状況です。 ・業務内容や技術に精通した者が複数で評価しています。

委員からの意見・質問、それに対する回答等

意見・質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定テーマ（釧路川水系における、水防災意識社会再構築ビジョンに基づく多様な減災の取り組みを検討する上での留意点について）に対する評価の考え方について確認。 ②北海道横断自動車道阿寒釧路間市道鶴野広里線跨道橋詳細設計業務（簡易公募型競争入札・総合評価落札方式（標準型）） ・ 評価テーマ（当該跨道橋における建設コスト削減に関する提案）に対する評価の考え方について確認。 ・ 技術提案にかなりの難易度が求められると推察したが、どうか。 ・ 必ずしも10社の指名選定が必要なのか。技術提案書の作成、提案内容の審査の労力を考慮すると、1次選抜で5社程度の選定でも良いのでは、効率的ということも考えられないか。 ・ 業務フローに対する評価の考え方について確認。 【上記、工事・業務について適切な評価と認める。】 	<p>※意見・質問に対して回答し、了解をいただいた。</p> <p>※意見・質問に対して回答し、了解をいただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 技術的には難易度は高いものと考えています。 ・ ガイドラインに準拠して10者を選定しています。 <p>※意見・質問に対して回答し、了解をいただいた。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>